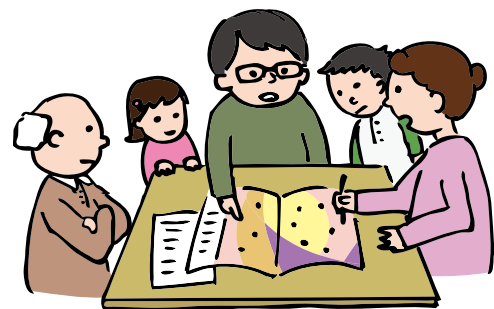


災害から身を守るために、あなたと家族の避難を考えておきましょう。 － 草津町ハザードマップ(簡易版) －

◆ 近年、気候変動に伴う豪雨災害の激甚化、東日本大震災後の地震活動の活発化、突発的な噴火活動、寒波による大雪など、全国各地で自然災害が多発しています。そうした災害が、近い将来において草津町でも発生する可能性は否定できません。

◆ 災害による犠牲者を出さないためには、当町職員をはじめとする公助だけではどうにもなりません。町民の皆さんの行動による自助、地域の助け合いによる共助と一体となって、自然災害に立ち向かう「地域社会」をつくることが求められています。

◆ 「草津町ハザードマップ(簡易版)」は、草津町における災害の危険性をふまえた、「災害による犠牲者を出さないための基本方針」と「避難の考え方」を、町民の皆さんと共有するために作成しました。本書をご一読いただき、いざというときに備え、あなたと家族の避難を考えておきましょう。



災害による犠牲者を出さないための基本方針

- 限られた人的資源を最大限活用するために、草津町から災害犠牲者を出さないための方針を次のとおりとします。



- 災害時には、「自分や家族の命は自分で守る」、いわゆる「**自助**」が原則

✓ 高齢者など、**要配慮者の方においても、まずは「自助」を原則とした対応**を検討してください。
(例) 家族や親戚(同居・別居に限らず)、サービス事業者、ケアマネジャーの助言等、自らが日ごろ持っている資源や人脈、利用しているサービスを最大限活用

- 自助だけでは対応できないこと、地域で助けあうことについては「**共助**」で対応

✓ **自助による避難が困難な方**に対しては、地元地域の「**共助**」による**避難支援を検討**してください。

- 避難情報の発令など、自助・共助のサポートを**公助で対応**

✓ 共助による避難支援でも困難な方(救助等の専門的な技能を要する場合)において、公的機関や専門機関等の「公助」による避難支援を検討します。(町役場までご相談ください。)

災害から命を守るために、地域の災害の危険性を知る

- 自宅やその周辺、地域で土砂災害・洪水等の災害の危険がありそうなところ、自宅内でも地震に備えた家具の固定や配置、耐震化がされているか、日頃から確認をしておきましょう。
- 裏面の「草津町ハザードマップ【簡易版】」を参考にしてください。

裏面を確認



災害から命を守るために、「避難の考え方」を知る

- その時の状況に合わせて避難できるよう、**複数の避難先**を検討しておいてください。

- 1 原則は、「**早い段階で災害の危険がない安全な場所へ避難(早めの避難)**」をする



- 2 移動することが危険な場合は、**その時できる、身を守るための最善の行動をとる**

※町の避難場所・避難所へ行くことだけが避難ではありません。(分散避難)

- ✓ 「難を避けること＝避難」ができれば、避難先はどこでもかまいません。
- ✓ 感染症対策等で3密を避けるためにも、**避難先が確保できる人はその場所に避難**してください。



■災害時に発令される避難情報

警戒レベル5	緊急安全確保	警戒レベル4までに危険な場所から必ず避難！ 高齢者等、避難に時間がかかる人は警戒レベル3で避難
警戒レベル4	避難指示	
警戒レベル3	高齢者等避難	

※ 警戒レベル5「緊急安全確保」は、災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、必ず発令されるものではありません。

町からの情報や災害が発生しそうな状況まで、避難を待つ必要はありません！

- ◆ 親戚・知人宅など、安全が確保できる場所がある場合は、「**早めの避難**」をしてください。

草津町ハザードマップ【簡易版】

- このマップは、まずは草津町の災害の危険性について町民の皆さまに気づいてもらい、自宅や地域の危険性を改めて確認していただくきっかけにしてもらうために作成したものです。

(その1)土砂災害

- がけ付近では「がけ崩れ」、沢付近では「土石流」の危険あり
 - 雨の様子や周辺状況、災害情報から、早い段階で土砂災害の危険がない安全な場所へ避難
 - 「いつもと違う何か」を感じたら、土砂災害の前兆の可能性あり。命を守る緊急避難を実施。

- かけ付近では「がけ崩れ」、沢付近では「土石流」の危険あり
 - 雨の様子や周辺状況、災害情報から、早い段階で土砂災害の危険がない安全な場所へ避難
 - 「いつもと違う何か」を感じたら、土砂災害の前兆の可能性あり。命を守る緊急避難を実施。

(その2)洪水災害

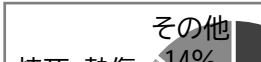
- 遅沢川付近では、速度の速い氾濫流が流下する恐れあり
- 滝下通り・大滝乃湯通り(川が暗渠になっている通り)では、大雨の水が集まり、速度の速い氾濫流が流下する恐れあり
- 雨の様子や周辺状況、災害情報から、早い段階で浸水の危険がない安全な場所へ避難

- 遅沢川付近では、速度の速い氾濫流が流下する恐れあり
- 滝下通り・大滝乃湯通り(川が暗渠になっている通り)では、大雨の水が集まり、速度の速い氾濫流が流下する恐れあり
- 雨の様子や周辺状況、災害情報から、早い段階で浸水の危険がない安全な場所へ避難

(その3)地震災害

- 草津町の直下で地震が発生した場合には、大きな揺れが町を襲う恐れあり
- 1995年阪神淡路大震災で犠牲になった方の77%は、家の倒壊や家具の転倒による窒息・圧死による※

➢ まずは家の耐震化や家具の固定など、地震への備えを実施

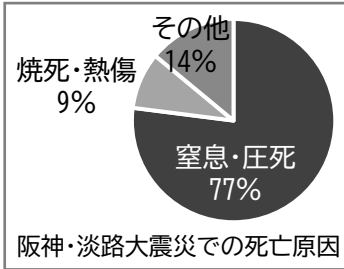


死亡原因	割合
窒息・圧死	77%
その他	14%
焼死・熱傷	9%

阪神・淡路大震災での死亡原因

※出典：阪神・淡路大震災調査報告 総集編（阪神・淡路大震災調査報告編集委員会）

- 草津町の直下で地震が発生した場合には、大きな揺れが町を襲う恐れあり
 - 1995年阪神淡路大震災で犠牲になった方の77%は、家の倒壊や家具の転倒による窒息・圧死による※
 - まずは家の耐震化や家具の固定など、地震への備えを実施
- | 死亡原因 | 割合 |
|-------|-----|
| 窒息・圧死 | 77% |
| 焼死・熱傷 | 9% |
| その他 | 14% |



※出典：阪神・淡路大震災調査報告 総集編（阪神・淡路大震災調査報告編集委員会）

(その4)火山災害

※火山災害についての詳細は、「草津白根山火山ハザードマップ」を参照してください。

- 火口付近では、噴石や火砕流の危険性あり
 - 噴火警報や立入規制などに従い、避難する
- 町のほぼ全域で降灰5cmが想定、呼吸器の異常を感じる人が生じたり、電柱・電線への火山灰付着による停電発生、上水道の水質低下、交通支障といった影響が生じうる
 - 不要不急の外出を控える、事前に自宅で待避生活が送れるよう、十分な備えをしておく
- 降灰後に大雨が降った場合は土砂災害のおそれあり
 - 土砂災害の危険性がある場合は安全な場所へ避難

※火山災害についての詳細は、「草津白根山火山ハザードマップ」を参照してください。

- 火口付近では、噴石や火砕流の危険性あり
 - 噴火警報や立入規制などに従い、避難する
- 町のほぼ全域で降灰5cmが想定、呼吸器の異常を感じる人が生じたり、電柱・電線への火山灰付着による停電発生、上水道の水質低下、交通支障といった影響が生じうる
 - 不要不急の外出を抑える、事前に自宅で待避生活が送れるよう、十分な備えをしておく
- 降灰後に大雨が降った場合は土砂災害のおそれあり
 - 土砂災害の危険性がある場合は安全な場所へ避難

(その5)大雪災害(雪崩)

- 積雪後に気温が上昇した場合、なだれの危険性があり
 - 積雪・気温の状況や気象庁からの「なだれ注意報」の発表に注意し、なだれの危険性が高いところに近づかない

- 積雪後に気温が上昇した場合、なだれの危険性があり
 - 積雪・気温の状況や気象庁からの「なだれ注意報」の発表に注意し、なだれの危険性が高いところに近づかない

